

豊かにかかわり 高め合う 鳩森の子

～シブヤ未来科の実践を通して～

第2学年 生活科 学習指導案

令和5年6月28日（水）5校時

渋谷区立鳩森小学校 2年1組

授業者 上村 愛

1 単元名 「まちのすてきたんけんⅠ」「こうきょうしせつのすてき」「まちのすてきたんけんⅡ」

2 単元の目標

地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分との関りを見付け、地域には様々な場所があり、様々な人がいることに気付くとともに、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり安全に気を付けて生活したりしようとすることができるようにする。

- (1) 地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、様々な場所があり、様々な人がいることに気付いている。
- (2) 地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関りを見付けている。
- (3) 地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。

3 本単元で育成を目指す資質・能力（評価規準）

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		内容(3)「地域と生活」		
		①地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、様々な場所があり、様々な人がいることに気付いている。	①地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関りを見付けている。	①地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。
小単元における評価規準	1	②地域には、自分の知っている場所やまだ知らない場所など、いろいろな場所があるところに気付いている。		

	2		③行ってみたい場所や見てみたい物を思い描きながら、探検の計画を立てている。	③友達や自分の行きたい場所や定められた時刻に応じて、探検する場所を調整したり、順番を変えたりしようとしている。
	3	④身近な地域の場所が、自分の生活と関わっていることに気付いている。 (習慣や技能) 地域を探検する際、定められた時刻を守っている。	④見付けたものや場所について、自分の生活と結び付けながら、地域の人に質問したり話したりしている。	
	4	⑤身近な地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあり、それらが自分たちの生活を楽しくしていることに気付いている。		⑤身近な地域には自分の生活を楽しくしてくれる場所があることを実感し、それらを自分の生活に取り入れようとしている。

4 単元設定の理由

(1) 児童の実態

学級の多くの児童は、本校の学区内で生まれ育ち、その親もまた本校卒業生である場合が少なくない。そのような家庭環境で育っている児童ではあるが、「まちのすてきなところ」や「おすすめしたいところ」に目を向けさせると、地域について知っている情報は多くなかった。普段生活している中で、これまで目する機会がなかった部分に目を向けさせ、まちの「すてき」を再確認し、より愛着をもって生活したり、まだ知らない場所やいろいろな場所が地域にはあることに気付かせたりしたい。また、それらの場所や物が自分の生活と密接に関わっていることに気付かせるようにする。

(2) 教材について

本単元では、児童が話し合った「まちのおすすめ」や「すてきなところ」から「お気に入りの場所」や「興味のある場所」「不思議に思っている場所」などをしぼり、児童が中心になって、まち探検の計画を立てる。自分の知っている場所やまだ知らない場所など、いろいろな場所があることに気づき、地域に探検に行きたいという思いを高め、関心をもってまち探検を行えるようにする。

また、探検に行く準備を進める中で、探検する場所を友達と調整したり、順番を変えたりして、探検の計画を立て、まちたんけんのルールやマナー、安全面などにグループで話し合う活動を行う。自分だけではなく、友達の意見も尊重して、話し合いを進めながら調整することを、協働学習を通して行う。

さらに、まち探検の振り返りでは、学級の友達に一番伝えたいことに焦点を当てて発見したことをまとめ、発表を行う。そして、発表を通して見えてきた地域のことや、自分の生活の中での地域との関り、今後の自分の活動の広がりに着目させていく。

5 主題に迫るための手立て

(1) 探究課題の設定

本校では第1学年から系統的に地域教材として新宿御苑を活用している。本単元では、新宿御苑を含めた児童の生活圏内において、興味のある場所や不思議に思っている場所などについて、児童自らが探検の計画を立て、実際に探検を行う。探検後は、探検のグループごとに、自分たちが発見したことをまとめ、発表を行う。この一連の学習活動は、「まちのすてき探し」という探究課題を通して進めていく。

(2) 指導方法の工夫

これまでの校外見学はクラス単位で学習を進めたり、まとめや発表は個人で行ってきたりした。本単元では、グループごとに計画を立て、見学をし、グループごとに発見したことなどをまとめる活動を行う。そのため、集めた情報や自分の考えを整理したり、話し合ったことをまとめたりする際に、初めて付箋を活用する。

(3) 各教科との関連

国語科「かんさつ名人になろう」の学習で学んだ、観察の視点(大きさ、形、色、数、におい、長さなど)をもって探検したり、国語科「メモをとるとき」の学習で学んだメモのとり方(何を見付けたか、どこで見付けたか、どんなものか)で書き留めたりするように指導する。

6 単元の活動計画(40時間)

		探究的な学習の過程	指導のポイント
まちのすてきたんけんⅠ (⑩)	話そう 1 まちのことを (①)	○地域で、自分のお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などについて話し合う。	・絵地図を活用しながら、児童の発言やつぶやきを板書に整理する。
	2 たんけんの計画を立てよう (③)	○探検に行きたい場所について話し合う。 ○探検先ごとのグループをつくる。	・児童の「行ってみたい」という気持ちを大切に、漠然とした児童のめあてや目的も認める。
		○グループごとに探検の計画を立て、計画表に記入する(探検する順番や通る道、役割、持ち物、探検のルールやマナーなど)。	・実現可能な計画を立てられるよう、「グループごと」「時間内で活動して学校に戻る」などの条件を明示する。
		○探検の計画や、探検のルール・マナーを確認する。 ○探検に出かける準備をする。	・緊急時に学校を取る方法について確認する。また、トイレや子供110番の場所も確認する。

3 まちたんけんをしよう (③)	○グループごとに探検に行く。	・活動内容を十分保障できるよう、探検のルールやマナーについては、前時に十分確認しておく。 ・探検先のことだけでなく、途中の道や探検先の近くの場所などで見付けて学級で紹介したいことがあれば、それもメモしたり覚えたりしておくことを確認する。 ・タブレット係（カメラ）を決め、活動の記録に残せるようにする。 ・探検から戻ってきたら、グループごとに振り返りをしてから、個別の記録カードに記入することを事前に確認しておく。
4 見つけたことを つたえ合おう (③)	○探検で見付けたことを、グループごとに振り返り、気付いたことを記録カードにかく。	・グループごとの計画書を見ながら、行きたかった場所に行ってどんな発見があったか尋ねる。 ・同じ行き先でも児童によって気付きは異なる。グループごとの振り返りでは、児童たちの力で様々な気付きを整理できるよう、付箋を活用する。 ・グループでの話し合いを受け、気付いたことを一人一人記録カードにかく時間を設ける。
	○見付けたことの中で、いちばんつたえたいことを付箋にかき、絵地図に貼る。 【本時】	・記録カードをもとに、新たな発見や出合いをグループで共有するようにさせる。 ・絵地図に付箋を貼る活動は、グループごとに行う。
	○絵地図を見ながら、自分たちが見付けたことやわかったことなどを発表する。	・グループごとの発表の仕方は様々に考えられる。「ベスト3」を挙げるなど項目数を絞って発表させる。 ・発表の際は、絵地図と合わせて、電子黒板を活用する。 ・本単元を通した振り返りの場を設け、児童の発言やつぶやきなどから、自分たちのまちには「すてき」な人や場所があることへの気付きを引き出し、価値付ける。

		探究的な学習の過程	指導のポイント
こうきょうしせつのすてき (12)	1 図書館をつかおう (3)	○学校のまわりの「みんながつかうまちのしせつ」はどんな所があるか話し合う。 ○図書館には、何があるか、だれが使うのか、どんな場所なのか話し合う。 ○図書館見学の準備をする。	・お店とは異なる「誰でも使っている場所」を取り上げ、図書館を利用した経験のある児童の話を取り上げ、学校図書館（図書室）とは何が異なるのか考えさせる。 ・図書館はどんな場所なのか、どんなことができるのか、どんな人が利用するのか、児童が知っていることを共有し、実際に見てみたい・聞いてみたいと思うように働きかける。
	2 図書館のことを聞いてみよう (6)	○図書館のことで疑問に思っていることなどの質問事項をまとめる。 ○見学のルール・マナーを確認する。	・図書館の施設や働く人の役割について質問したいことを学級でまとめる。
		○渋谷区立中央図書館へ見学に行き、図書館がどんな場所なのか知る。 ○見学では分からなかった図書館についてのことを図書館司書やスタッフの方へ質問する。	・図書館との事前の打ち合わせを行い、見学の仕方やルールを児童に伝える。
		○図書館見学で知ったことを記録カードに記録する。	・図書館見学で知った新たな発見や気づきを中心に記録カードにまとめさせる。
	3 みんなでつかうしせつのことを話し合おう (3)	○「公共施設」という言葉を知り、学校周辺の他の公共施設は何があるか話し合う。 ○それぞれの公共施設は、どんなところなのか、誰が使う場所なのか、児童の利用経験などを発表し、話し合う。	・他の公共施設についてこれまでに児童が利用した経験を教え合い、利用経験のない児童にも公共施設の様子が分かりやすいように画像を用意したりインターネットで検索して提示したりする。
		○これまで利用したことのある公共施設について、カードにまとめる。	・これまでに利用したことのある公共施設についてカードにまとめ、友達のカードを比較しながら、これから積極的に公共施設を利用していこうという意欲をもてるようにする。

		探究的な学習の過程	指導のポイント
まちのすてきたんけんⅡ (18)	1 たんけんの計画を立てよう (3)	○まちたんけんⅠや公共図書館見学でもっと知りたいなと思った学校の周りの施設や場所について話し合い、探検先ごとのグループをつくる。 ○グループごとに探検場所や聞きたいこと、コースを話し合って決める。計画書を作成する。	・まちたんけんⅠや公共施設見学を経て、もっと知りたい・行ってみたいと思った場所について話し合う。
	2 もういちどたんけんに行こう (3)	○グループごとに探検に行く。 ○探検活動を振り返り、気付いたことを記録カードにかく。	・まちたんけんⅠのときと比べて、目的をもってまちたんけんに行くように探検ポイントをグループごとに決めさせる。 ・活動時間を十分に保障できるよう、探検のルールやマナーについては事前に十分確認しておく。 ・タブレット係（カメラ）を決め、活動の記録に残せるようにする。 ・児童の気付きの質を高められるよう、まちたんけんⅠの時と比べてどうだったかを記録するようにする。
	3 つたえたいなまちのすてき (3)	○地域で関わった人のことを伝えたいという思いをもち、まちたんけんⅡで出会った人や見付けたことを振り返り、「まちのすてき」を友達と伝え合う。 ○出会った人や見付けたことをより多くの人に伝える計画について話し合う。	・「まちのすてき」を全体で紹介したり確認したりする時間を十分保障し、児童が自分の力で振り返られるようにする。 ・「誰に」「何を」伝えたいかを話し合う。

3 もつとくわしくしらべよう (③)	○「まちのすてき」を多くの人に伝えるために、伝えたいことや、そのためにもっと詳しく知りたいこと、調べる方法について話し合う。 ○話し合って調べた方法で詳しく調べる。	・グループで決まった調べ方を最終確認し、同じ方法で調べるグループがあれば一緒に活動し、お互いに情報交換しながら進められるようにする。
4 つたえたいことをまとめよう (③)	○詳しく調べたことをグループごとに整理をしてまとめる。 ○まちたんけんⅡで調べてまとめたことについて伝える準備をする。	・「誰に」「何を」伝えるのかを確認する。グループで調べたことを整理することと、「伝えること」にまとめる際は、付箋を使うようにする。 ・新聞やポスターなどにまとめる活動の他、紹介する相手を想定した準備をする。
まちのすてきをどどげよう (③)	○グループでまとめたことを、地域や保護者の人に伝える。 ○地域や保護者の人に伝えたり、感想や質問を受けたりしたときの様子を振り返る。	・児童が伝えたことについて、伝えた相手から感想や質問を受け、戻ってきてから全体で共有できるようにする。

7 本時（8/10）「見つけた ことを つたえ合おう」

（１）ねらい

探検で見つけたことを交流する中で、地域では自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあることや、それらの場所が自分たちの生活を楽しくしていることに気づき、それらを自分たちの生活に取り入れようとするができるようにする。

（２）学習指導過程

	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	・ 留意点 □評価
導入	○前時の活動を振り返り、本時のめあてを確認する。	・ 前時に記入した記録カードを見て、見付けたことや気付いたことを整理する。
展開	○見付けたことを交流する。 ・ 店の前で、行列に並ぶ人を見付けた。 ・ 初めて知った場所があった。 ・ 今まで気付かなかったところに、○○があった。 ○「いちばん伝えたい」ことを選んで付箋にかき、グループのみんなで絵地図に貼る。	・ 記録カードを見せ合い、友達の内容と比べながら、新たな発見や出会いを伝え合うようにする。 ・ 記録カードの他に、タブレット端末で撮影した写真も活用するようにする。 ・ 学級みんなに伝えたいことを、グループ内で話し合って決めるように助言する。 ・ 絵地図の大きさと付箋を貼る数を考慮して、準備する付箋の大きさに留意する。 ・ 地図上で一緒に道をたどるなどしながら、児童が正しい位置に付箋を貼れるように支援する。 ・ なぜ「いちばん伝えたい」のか、理由も考えさせて選ぶようにする。 ☒ みんなと地域での発見を伝え合い、地域にはたくさんの人や物、場所があることについて話している。（発言）
終末	○本時のまとめをするとともに、次時の見通しをたてる。 ・ 自分が気付かなかったまちのことに友達が気付いていた。 ・ 初めて知ったまちのことが、思ったよりもあった。	・ 今後の活動の見通しをもてるよう、次時の学習内容を確認する。